

生徒会総会挨拶

令和2年2月20日（木）

2月は「逃げる」と言われるとおり、今月も残すところ1週間あまりです。「Time is money」、時間を大切に生活してください。さて、来年度4月からの大野中の生徒数は、1学年3名、2学年5名、3学年19名、計27名の見込みです。学級数は1・2年生が複式となり1学級、3年生1学級の計2学級の見込みです。次年度は学級数が2となるため、先生方の数も今年度より少なくなります。小規模校ゆえの様々な課題を解決するためには、大人だけでなくみなさんの理解と協力が必要です。生徒数・教職員数の減少という難しい局面においても、みなさんが「稼げる大人」「リーダーシップのとれる大人」になるための力を育むことができるように、みなさん自身がよく考え行動できるよう努めてください。

来年度からは、生徒数・教職員数の減少により、生徒会活動や学校行事の内容を見直す必要があります。先生方で既に検討を始めていますが、生徒会活動や学校行事の主役はみなさんです。みなさんの声も聞きながら、次年度の生徒会活動や学校行事の在り方をデザインしていきます。みなさんの声を届けてください。

第35代アメリカ合衆国大統領ジョン・F・ケネディは、「国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが国のために何を成すことができるのかを問うて欲しい」と言いました。このケネディの言葉を借りれば、「学校があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが学校のために何を成すことができるのかを問うて欲しい」「生徒会があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたが生徒会のために何を成すことができるのかを問うて欲しい」となるでしょう。

生徒会活動を通じて、「自分には何ができるのか」という「リーダーシップ」をみなさん一人ひとりが育むことを期待して、私からの挨拶といたします。